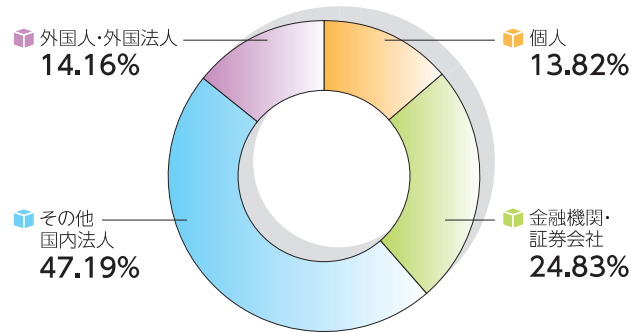


株式の状況 (2012年9月30日現在)

発行済株式総数…109,663,524株 (1単元の株式数:100株)

株主数……………13,756名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
大日本印刷株式会社	20,727	18.90
三井物産株式会社	9,798	8.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	6,633	6.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,853	4.42
農林中央金庫	4,653	4.24
日本ユニシス従業員持株会	3,332	3.03
全日本空輸株式会社	1,794	1.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・三菱電機株式会社口)	1,271	1.15
MORGAN STANLEY & CO. INTERNATIONAL PLC	1,005	0.91
MORGAN STANLEY & CO. LLC	961	0.87

(注)上記の他、当社は自己株式15,670,850株(持株比率14.28%)を保有しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会および期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-288-324(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日祝日を除く)
特別口座に関する事務取次所	みずほ信託銀行 全国各支店 みずほインベスターズ証券(※) 本店および全国各支店
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 (http://www.unisys.co.jp/com/notification) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード 8056)

※みずほインベスターズ証券は、2013年1月4日以降はみずほ証券となります。

- 証券会社に口座を開設されている株主様が、ご住所等の変更や単元未満株式の買取その他の各種手続きを希望される場合は、口座をお持ちの証券会社にお申し出ください。株券電子化後、これらのお手続きは、株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座で管理されている株式についての各種お手続きにつきましては、上記「電話お問い合わせ先」または「特別口座に関する事務取次所」までお申し出ください。

日本ユニシス株式会社

本社/〒135-8560 東京都江東区豊洲1-1-1 電話:03-5546-4111(大代表)



Forest Stewardship Council® (森林管理協議会)の基準に基づき、適切に管理された森林からの材料を含むFSC®認証紙を使用しています。



印刷時に、VOC(揮発性有機化合物)などを含む混し水が不要となる水なし印刷を採用し、大気保全に配慮しています。

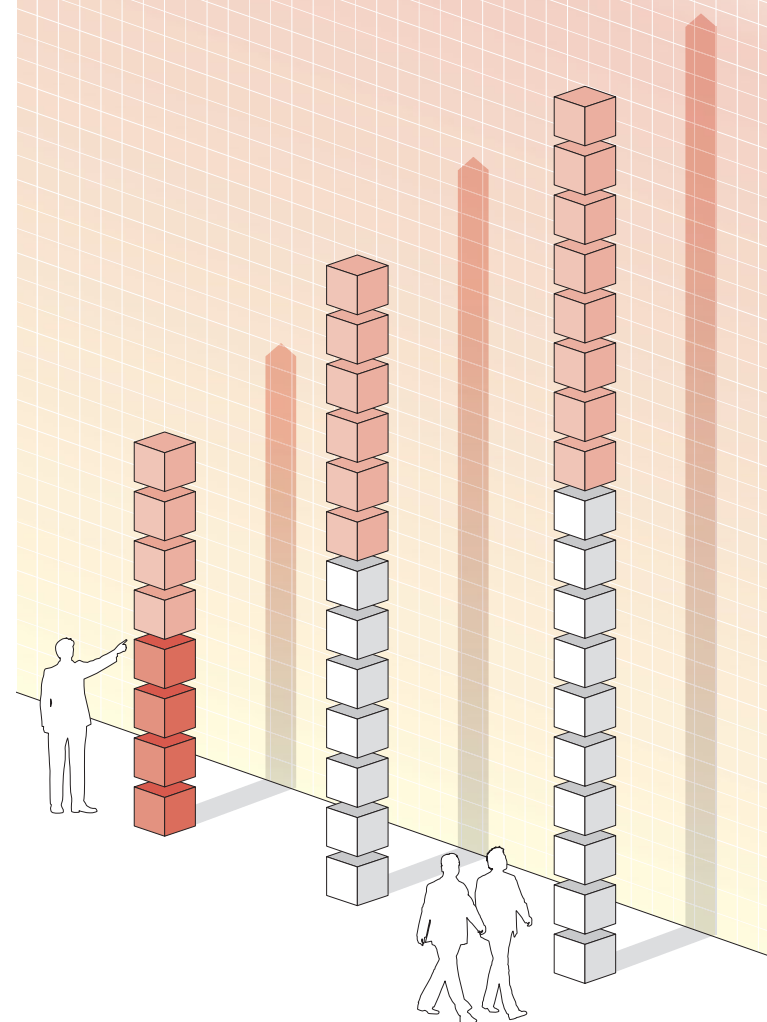


石油系溶剤の一部を植物油に置き換えたベジタブルインキを使用し、VOC(揮発性有機化合物)を削減し、大気保全に配慮しています。

UNISYS

日本ユニシス株式会社 株主通信

2012年4月1日~2012年9月30日



持続的に成長し続ける企業を目指して、スピード感を持って取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

企業の情報サービス投資が緩やかな回復傾向にある中で、2013年3月期第2四半期の売上高、営業利益は、期初に公表した見通しを大きく上回る着地となりました。一方で、残念ながら保有有価証券の株価が下落したことから、純損失を計上することとなりました。

日本ユニシスグループは、今期から『中期経営計画(2012→2014)』をスタートさせ、中期的成長に向けた重点戦略にも取り組んでおります。

8月には大日本印刷株式会社との業務提携を行い、クラウド事業や販売連携では既に具体的な案件にもつながっております。今後は、ソリューション事業についてもシナジー効果を発揮して、コアビジネスの拡大につなげていきたいと考えております。

さらに「新ビジネスへの挑戦」として、BEMS(ビル・エネルギー・マネジメント・システム)への参入や充電インフラシステムなどのエネルギーの効率化を実現するビジネスに取り組んでおります。今後はさらに総合的なエネルギー・マネジメント・システムへと進化させることで、さらなる事業の拡大につなげてまいります。

ビジネスの成長を支える「経営基盤の強化」については、「働きがいのある会社」を目指した人事制度改革に取り組んでおります。また、新分野や新事業へのチャレンジを進めていることから、リスクマネジメントのさらなる強化を図っております。

足元での不透明感が高まっておりますが、持続的に成長し続ける企業を目指して、さらにスピード感を持って取り組んでまいります。

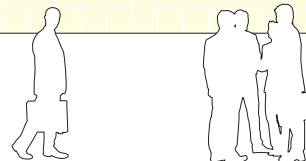
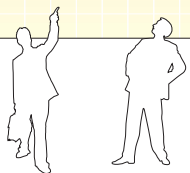
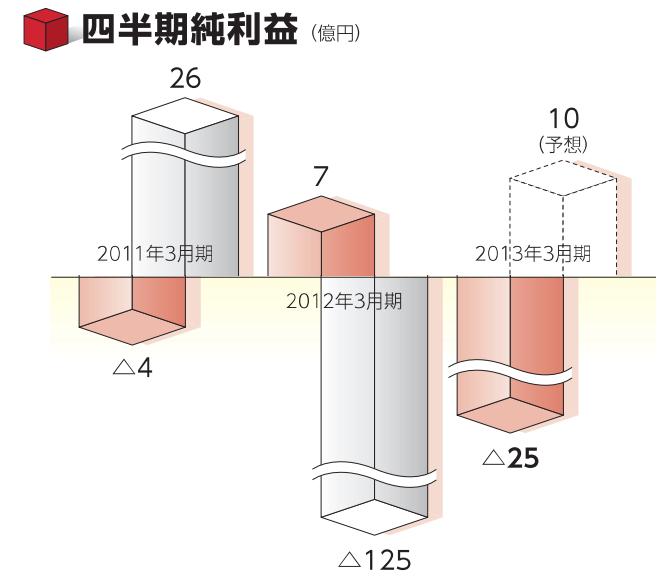
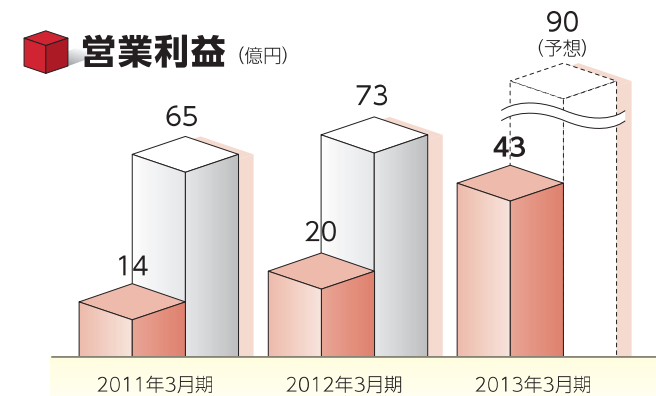
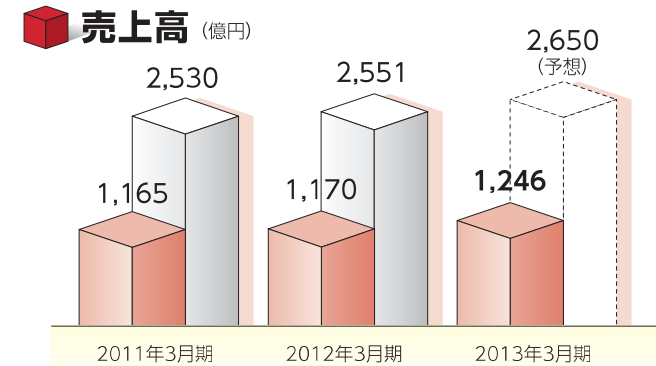
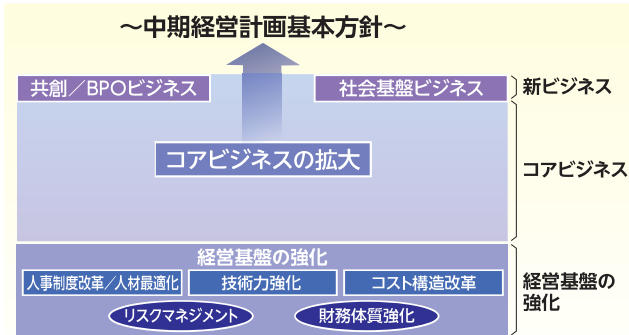
今後とも株主のみなさまの一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2012年12月

代表取締役社長



黒川 茂



2013年3月期 第2四半期連結決算のポイント

業績のポイント

売上高は1,246億円(前年同期比6.4%増)となりました。売上高増加に伴う利益増加に加え、販売費及び一般管理費の抑制が進んだ結果、営業利益は43億円(同113.4%増)となりました。四半期純損益は、投資有価証券評価損51億円を特別損失として計上したこと等により25億円の損失を計上することとなりました。

キャッシュ・フローについては、営業活動によるキャッシュ・フローが前期比で大幅に増加(前年同期比124億円増)した結果、フリー・キャッシュ・フローは71億円の収入(同110億円増)となりました。

財務のポイント

総資産は売掛金の減少等により前期末比65億円減少の1,836億円となりました。

負債は借入金の返済、買掛金の減少等により前期末比63億円減少の1,206億円となりました。

純資産は631億円となり、自己資本比率は、前期末比1ポイント増加の33.6%となりました。

2013年3月期 業績予想と配当計画

2013年3月期見通しの売上高2,650億円、営業利益90億円は、期初時点からの変更はありません。一方で経常利益85億円(前回見通し83億円)、当期純利益10億円(同48億円)は、上期の状況を勘案して見直ししています。

配当については、企業価値の増大が最も重要な株主還元であるとの認識のもと、「業績に応じた配当」を基本方針として、連結配当性向20%以上を目安に安定的、継続的な利益配分に努めています。当期につきましては、期初計画通り1株当たり年間10円(中間5円、期末5円)を予定しています。

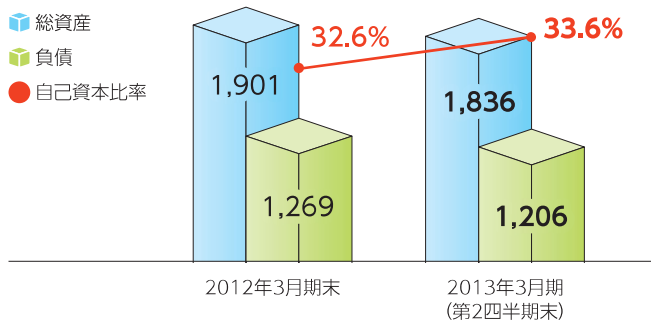
業績の推移 (百万円)

	2012年3月期 (第2四半期)	2013年3月期 (第2四半期)
売上高	117,049	124,571
売上総利益	30,683	31,494
販売費及び一般管理費	28,687	27,237
営業利益	1,995	4,257
経常利益	1,806	4,375
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	688	△2,533

財務の推移 (百万円)

	2012年3月期末	2013年3月期 (第2四半期末)
流動資産	114,869	111,209
固定資産	75,213	72,420
資産合計	190,083	183,629
流動負債	81,710	73,626
固定負債	45,150	46,931
負債合計	126,860	120,558
純資産合計	63,223	63,071
負債純資産合計	190,083	183,629

総資産・負債・自己資本比率 (億円)



TOPICS

常にお客様のビジネスの進化・発展 ～大日本印刷との業務提携で新しいビジネスの

日本ユニシスは8月に大日本印刷と業務提携

現在、スマートフォンやデジタルコンテンツ、クラウドサービス、消費者生活が大きな変化をとげようとしています。スグループは、業務提携により、大日本印刷株式会社と、日本ユニシスグループの有するクラウド関連技術や進化させる新しいサービス市場に展開していくことで両

大日本印刷が、日本ユニシスの筆頭株主に

三井物産株式会社と大日本印刷株式会社間の株式譲渡契約に基づき、三井物産株式会社が保有する当社普通株式の一部が大日本印刷株式会社へ譲渡されました。それにより、大日本印刷株式会社が当社の筆頭株主となり、三井物産が第2位株主となりました。

※株主順位は自己株式を除く。

日本ユニシスは空港ラウンジでANAデジタル ～大日本印刷にもご協力いただいています～

日本ユニシスグループは、伊丹空港のANAラウンジを9月10日から開始、2012年度中に羽田・成田空港にも展開。このサービスは、ANAのラウンジ内で接続できるモバイルのコンテンツなどを、デジタルコンテンツとして提供。スマートフォンなどからANAラウンジのWi-Fiを利用いただけます。一部のコンテンツはダウンロードができ、ラ

を支えるパートナーを目指して 価値創出に向けて取り組んでいます～

しました

サービスが社会に浸透しはじめたことで、企業経営やワークス
このような環境認識のもと、大日本印刷株式会社と日本ユニシ
が有する印刷技術・デジタルコンテンツ制作技術・販促ノウハウ
サービス開発ノウハウを連携し、消費生活や企業経営を大きく
社企業価値の向上につなげてまいります。

渡 通株 に 三井

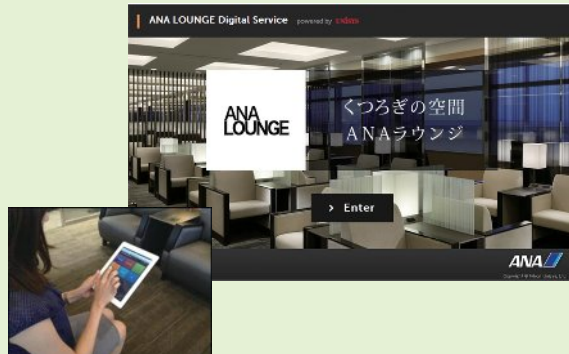
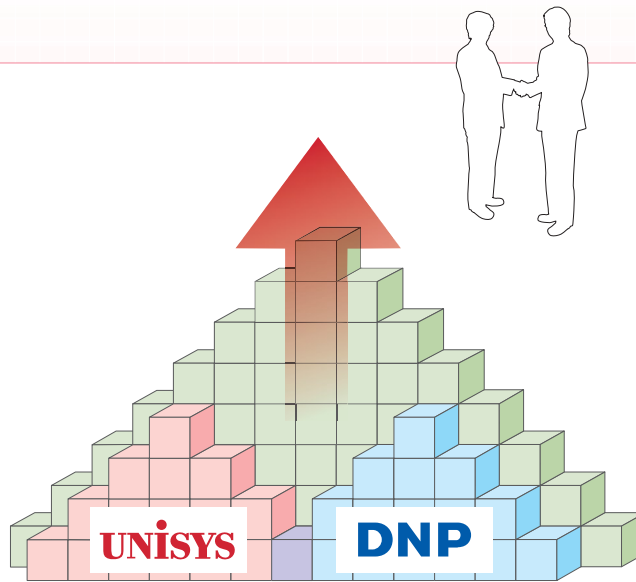
	大日本印刷		三井物産	
	持株数 (持株比率)	大株主 順位	持株数 (持株比率)	大株主 順位
異動前	1,000株 (0.00%)	—	30,524,919株 (27.83%)	1位
異動後	20,727,410株 (18.90%)	1位	9,798,509株 (8.93%)	2位

異動日:2012年8月22日

ルコンテンツサービスを開始しました

にて、ご利用のお客様にデジタルコンテンツを提供するサービス
にも順次展開を予定しております。

ポータルサイトを通じて、ニュース、雑誌やANAの発行誌、オリジナ
供するものです。お客様は、ご自身のパソコン、タブレット端末、ス
して、ポータルサイトに接続し、これらのコンテンツをお楽しみいた
ラウンジを出た後でご覧いただくこともできます。



日本ユニシス実業団 バドミントン部レポート

[YONEX OPEN JAPAN 2012] 混合ダブルス 池田・潮田組、男子 ダブルス 佐伯・埜畑組が3位入賞!

2012年9月18日～23日、日本で唯一の
スーパーシリーズ[YONEX OPEN JAPAN
2012]が開催され、日本ユニシスからは11選
手が出場し、混合ダブルス池田信太郎・潮田玲
子組と男子ダブルス佐伯祐行・埜畑亮太組が3
位入賞を果たしました。



実業団バドミントン部オフィシャルサイト
www.unisys.co.jp/badminton/

[ロンドンオリンピック2012] 池田・潮田組は予選敗退ながら も、混合ダブルスで日本初の勝利

2012年7月27日～8月12日、イギリス・ロン
ドンで開催された「ロンドンオリンピック
2012」。バドミントン混合ダブルスの日本代表
として出場した池田信太郎・潮田玲子組は、予
選リーグ初戦のポーランド戦を落としますが、
第2戦のカナダペアに混合ダブルス種目として
は“日本初の勝利”を挙げます。しかし、第3戦
では、世界ランキング4位のデンマークペアに
敗れ、1勝2敗で惜しくも予選突破はなりません
でした。みなさまの温かいご声援ありがとうございました。